

シンガポール歯科研修

2年生は9月11日からシンガポール歯科研修に行きました。日本とのシンガポールの違いに触れて、たくさんのお話を学ぶことができました。

ラボ見学では、シンガポールの技工士が働く現場の数々を見学することができました。きれいで大きなビルの中に歯科医院や技工所が入っていたり、色々な人種の方々が一緒に働いているなど、日本の技工所との違いや共通点を、自分の目で確かめることができました。海外で働くのは私の夢の一つなので、こんな雰囲気の中で働いてみたいと思いました。

自由行動ではUSSへ。USJにはない絶叫系の乗り物にたっぷり乗って遊びました。言葉は、意外に簡単な英語の単語だけでも伝わるので、「英語がしゃべれない」と不安にならなくても大丈夫ですよ！



見学に行ったラボで、技工士さんとパチリ！

初めての海外旅行で、イメージがわかなくて不安もありましたが、行ってみたらとても楽しかったです。自由行動での観光やショッピングでは、コトバが通じるのかドキドキ。でも、自分のカタコト英語でも、意外と話が通じ、自分の欲しかったものを買うことができてうれしかったです。もっと英語力をつけて、ぜひまた海外旅行に行きたいと思いました。

現地では水道の水が飲めないで、日本から水をもって行きましたが、とても不便で、蛇口をひねれば安全な水が飲める日本の住み心地の良さに、改めてありがたみを感じました。



2年 遠藤 千尋
 (宮城県東松島高校卒)

2年 梅津 知佳
 (宮城県東松島高校卒)

合同研修会で発表 超キンチョーの初体験!!

10月27日に、市内の技工士学校3校が合同で行う研究発表会があり、研修科生8人はマウスガードについて発表をしました。

私たち研修科は、スポーツで使うマウスガードを作成・着用し、様々なスポーツや体力測定をして、その結果の違いについてまとめて発表をしました。発表前の10月4日に秋のスポーツ大会があったので、競技中にマウスガードを着用



研修科 間山 友博
 (青森県五所川原高校卒)

して実際に体験してみるなど、様々な実験をして研究をまとめました。その結果、マウスガードの効果には個人差があること、運動の種類によって向き不向きがあることなどが分かりました。私は研修科を代表して100名以上いる参加者の前で研究内容を発表する役目で、とても緊張しました。でも、何とか最後まで失敗なく大役を果たせて良かったです。

パソコンが苦手なボクをみんながフォローしてくれました。



陶芸教室で お皿づくりに没頭!

1年生は9月22日、蔵王の万鳳窯(まんぶうがま)で陶芸教室に参加してきました。

陶芸を行う万鳳窯は、自然に囲まれた山の中で、とても気持ちの良い場所にあります。教室では、一人ひとりに粘土が配られ、それぞれが好きな形の器やカップなどを作りますが、私は日ごろ何かとお世話になっている母にプレゼントをしたかったので、四角いお皿を作りました。学校での実習とは違って、あらかじめ決められていない形のものを作るとは意外に難しく、とても新鮮な体験でした。私たちの作品は、あとで釉薬をかけて焼きあげたら学校に届くのですが、出来上がったお皿を母に渡す日が待ち遠しいです。



1年 熊谷 純花
 (岩手県花巻南高校卒)



本校は、季節ごとの行事で気分をリフレッシュする機会が多いところが気に入っています。行事が多いと、友だちもできるし、先輩方も仲良くなれますよ！



粘土で自由に作るのが楽しかった♪